

地域唐揚協会設立のススメ
～地域活性化の具体的施策～

一般社団法人 日本唐揚協会
理事長 やすひさ てっぺい

目次

| | |
|------------------------------|----|
| はじめに | 3 |
| 地域の唐揚協会を創ることでどうなるか | 4 |
| 地域唐揚協会に望むこと | 5 |
| まちづくり事業 | 5 |
| ひとづくり事業 | 6 |
| 青少年育成事業 | 7 |
| 地域唐揚協会活動のメリット | 8 |
| 唐揚提灯認定制度の実施 | 8 |
| 地域唐揚協会会員管理システムの貸与 | 11 |
| 地域唐揚協会専用 URL によるホームページ | 11 |
| 日本唐揚協会認定カラアゲニストへの情報配信 | 12 |
| 日本唐揚協会唐揚げマップへの登録削除権限 | 12 |
| からあげグランプリ®予選免除 | 13 |
| 収益モデルの提供 | 14 |
| 唐揚提灯認定制度 | 14 |
| スポンサー制度 | 16 |
| 地域唐揚協会の設立方法 | 17 |
| 必要要件 | 17 |
| 必要書類 | 17 |
| 費用 | 17 |

はじめに

2015年より一般社団法人日本唐揚協会は、唐揚げを通じた地域振興を提言するローカル・アゲノミクスを宣言し、地域の唐揚げを盛り上げることで、地域活性を推し進めるという活動を推し進めています。

その背景には、2016年3月末の段階で会員数7万人を超える認定カラアゲニストを要する世界最大のバカ協会（〇〇バカと呼ばれる愛好者たちの協会）となったことが大きいです。今後も増え続ける唐揚げのパワーは、各地で根付いている文化を世に送り出しています。例えば、大分県中津市や宇佐市は、それまで、地元の人たちでは当たり前であった唐揚げ専門店の存在が、ひとたびそこに注目を集めた結果、世間では当たり前でないということで、現在、唐揚げの聖地、専門店発祥地として全国区になり、多くの観光客を呼び込んでいます。この様に、地域の特色と唐揚げを掛け合わせることで、地域への注目を集めることができ、地元の宝として地域ではそれを誇ることができ、外部からはそれを求めてやってくる観光客を呼び込むことができるのです。

あなたのまちにも誇るべき食文化があるはずです。もしかしたら、あなたにとって当たり前すぎるそれが、とんでもない力を秘めているかもしれません。そんなまちの当たり前を唐揚げと掛け合わせることで、あなたのまちに新しい価値創造をすることができます。ぜひ、あなたのまちの唐揚協会を創って、新たなまちづくりを一緒にしていきましょう。

地域の唐揚げ協会を創ることでどうなるか

地域唐揚げ協会を創ることで、その地域の唐揚げを発信する基地ができるとお考えください。あなたのまちの美味しい唐揚げや、あなたのまちの美味しい特産品の唐揚げ、その他唐揚げに合う調味料や唐揚げに合う飲み物、食文化や人々の交流など、皆が大好きな唐揚げにまつわるものをより多くの人に発信することができるようになります。

2020年までには多くの外国人観光客が来日しますが、そんな世界中の人たちが、唐揚げを通じて訪れることで、あなたのまちを好きになるきっかけになるはずです。もちろん、海外からのインバウンドだけではありません。美味しい唐揚げがその地域にあると聞いたならば、我々唐揚げをこよなく愛する認定カラアゲニストたち（2016年3月末現在70,000人）は、「どうせなら」と必ず足を運ぶことでしょう。誰でもが子どもの頃より慣れ親しみ、お弁当に入っていてほしい No1 の料理である大好きな唐揚げは、大多数の人に受け入れられ、本当に美味しければその地位を危ぶまれることもなければ、一過性のブームで終わることもありません。日本人が胸を張って「美味しい」と言える唐揚げを、自分の愛すべきまちこそが「美味しい」と誇ってほしいと思います。

具体的には、地域唐揚げ協会から正当に推薦された唐揚げに対し、我々日本唐揚げ協会は後押しを行います。現在日本国内で唯一と言われる唐揚げの全国的な賞『からあげグランプリ®』の予選免除権を与えます。我がまち自慢の唐揚げを日本一とする、太い道筋をつくらせていただきます。もちろん地域が多くなった未来には、予選会などを行うかもしれませんが、今のうちに是非確固たる地位を少しでも早く築き、まちづくりに活かしてほしいと思います。

また、後述しますが地域の唐揚げを盛り上げるためのシステムを用意いたします。もちろん、まちづくりがメイン事業ですので、そのまちづくり事業を後押しし、地域の唐揚げを出すお店や人を後押しするシステムとなっております。

地域唐揚協会に望むこと

地域唐揚協会に望むことは、唐揚げを通じて地域のまちづくりをすることです。我々日本唐揚協会と地域唐揚協会の違いは、

日本唐揚協会

… 唐揚げ好きの人の為の組織

地域唐揚協会

… 唐揚げを通じて地域活性化する店や人の為の組織

と言うものです。つまり、日本唐揚協会は唐揚げファンの為に活動し、地域唐揚協会は地域の為に活動するという違いです。お店の人が集まるのではなく、地元が好きな唐揚げ好きが集まって、地域の為に活動するものです。

日本唐揚協会としては、唐揚げ好きを応援し、唐揚げで地域を盛り上げる人たちを応援することで、協会の目的である世界平和を実現できると考えています。そして、その実現と、より地域が盛り揚がる為日本唐揚協会が地域唐揚協会に望むことは、以下の3つの事業を行ってほしいと考えています。

- ① まちづくり事業
- ② ひとづくり事業
- ③ 青少年育成事業

まちづくり事業

日本唐揚協会が最も力を入れている事業の一つに『からあげグランプリ®』があります。日本中の唐揚げ提供店を対象に、唐揚げファンより推薦をもらい、最終的に各部門で最も美味しい唐揚げをネット投票で行うというものです。2016年現在では第七回を重ね、日本中の唐揚げ提供店より権威ある賞とご評価頂いていま

す。そのからあげグランプリの地域版である『地域（ご当地）唐揚選手権』を開催してほしいというものです。

地域唐揚選手権の具体的なやり方は、既に3年間実施してきた大阪府の高槻唐揚協会のやり方に倣う形が、最もやり易く受け入れられ易いものと考えていますが、その実施方法などは詳細な実施計画書を高槻唐揚協会で作成済みですので、別途ご相談頂ければと思います。一例として、彼らのやり方として特筆すべきは、地元のお祭りである高槻祭り（来場者数10万人以上）とコラボレーションすることにより、地域に受け入れられているということです。何れにしても、地域の唐揚げを盛り上げることで、もっと美味しく、もっともっと美味しい唐揚げへのベクトルへ全体が向かうこととなります。この高槻唐揚選手権の1位店舗に対して日本唐揚協会は最大の賞賛を送り、日本中の唐揚提供店の頂点である『からあげグランプリ®』の予選を免除させていただきます。

ひとつづくり事業

まちを活かすには人が最重要であります。まちづくりを志しても、誰も人が喜ばないまちでは意味がありません。そのような意味で、地域を愛する人を育ていきつつ、人がそれぞれ成長し高め合える環境をつくることで、すべてに波及していくと我々は考えています。その中で、人を直接成長させる研修事業なども推奨していきたいと思っておりますし、その前段階でも地域での唐揚げ好き同士の交流は必須と考えています。そこで、日本唐揚協会が毎年年に2回、2月9日（ニク）と11月29日（イイニク）に開催している『謝肉祭』という唐揚げ好きのための交流会を開催しています。現在は10回を重ね、年々素晴らしい唐揚げの祭りとして、唐揚げファンを魅了しています。それを必ず年に1回は地元地域で開催をお願いしたいと思います。

青少年育成事業

最後に、青少年育成事業です。これは、地域でなければできないことをやってほしいと思います。実際に具体的にこれをしてほしいというものはありません。ただし、地域の子ども達が唐揚げに触れ、地域に触れ、大人との接点や親との接点を得ることにより、地域で、環境で、子ども達の未来を創っていくことをすべきであると考えます。親子で唐揚げをつくる機会でもいいでしょう。地元の老人たちと一緒に唐揚げ店を回って、スタンプラリーするのもいいでしょう。是非、子ども達の未来に少しでも力になれる組織として地域唐揚げ協会を活かしてほしいと考えます。

地域唐揚協会活動のメリット

地域唐揚協会活動をしていただくことで、市外からのインバウンドや、その土地の明確な売りの一つができることで、地域を盛り上げる原動力になることは間違いありません。しかし、我々一般社団法人日本唐揚協会は、「勝手にやって」というスタンスではなく、より明確な支援をさせて頂きたいと考えております。

唐揚提灯認定制度の実施

一般社団法人日本唐揚協会では、唐揚提灯認定制度という新たな制度を実施いたします。

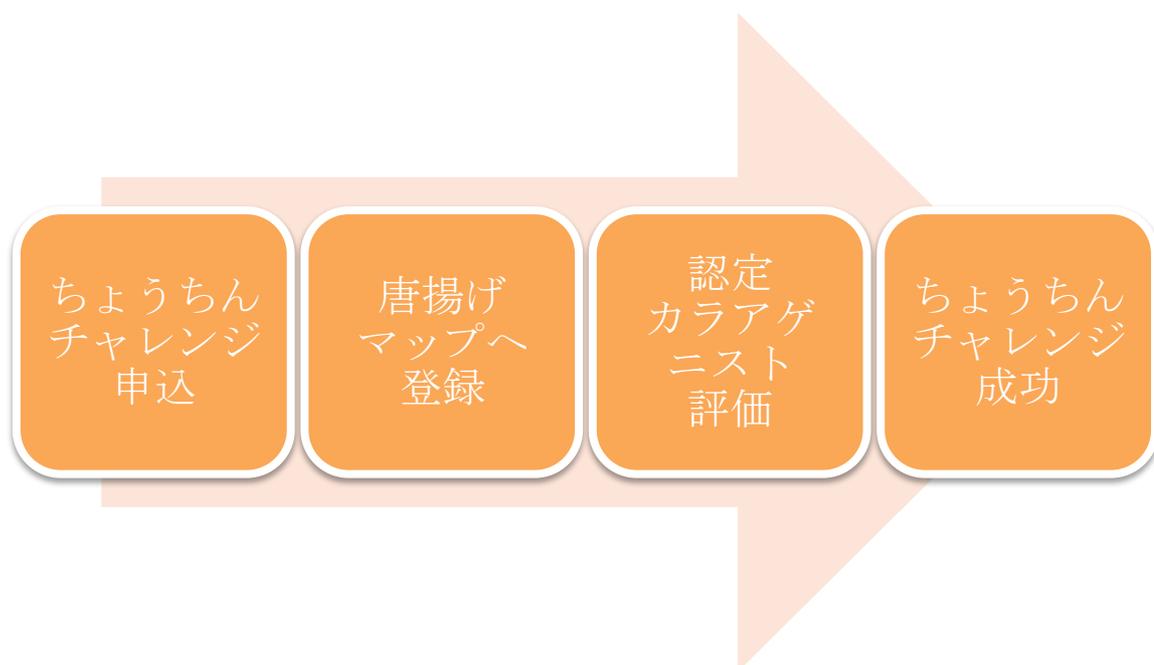
地域唐揚協会が主体として、地域の唐揚店へ唐揚提灯を認定していくことで、地域の唐揚店に対し、唐揚好きなお客様や唐揚げを大好きな認定カラアゲニストを誘導していきます。具体的な実施として、唐揚げちょうちんチャレンジを唐揚店にチャレンジして頂くことから始まります。

提灯イメージ



※画面、プリンターへ出力した色と、実物の色は異なります。

1. 唐揚げ店はまず初めに、ちょうちんチャレンジに挑戦して頂きます。地域唐揚げ協会とコンタクトを取り、ちょうちんチャレンジ申込をして頂きます。
2. 地域唐揚げ協会は、その申込情報をもとに日本唐揚げ協会より提供されている唐揚げマップ（唐揚げ店データベース）へちょうちんチャレンジ情報を登録します。近隣、全国の認定カラアゲニストへその情報が通達され、認定カラアゲニストたちは、その唐揚げの審査へ出向きます。
3. 認定カラアゲニストたちはその唐揚げ店の唐揚げを食べ、評価をし、店舗へ評価シートを提出します。（その際店舗は唐揚げ一皿サービス願います。一皿のみの飲食の場合は、お代は頂いてください。）
4. 一定期間のちょうちんチャレンジが終了し、星5つ中、2.5以上の星がついたら、ちょうちんチャレンジ成功として、店にちょうちんを掲げられます。なお、ちょうちんチャレンジ成功した後、認定カラアゲニストを証するもの（名刺、協会章、会員証）をお持ちの方へは唐揚げ一皿など、何かしらのサービスをお願い致します。

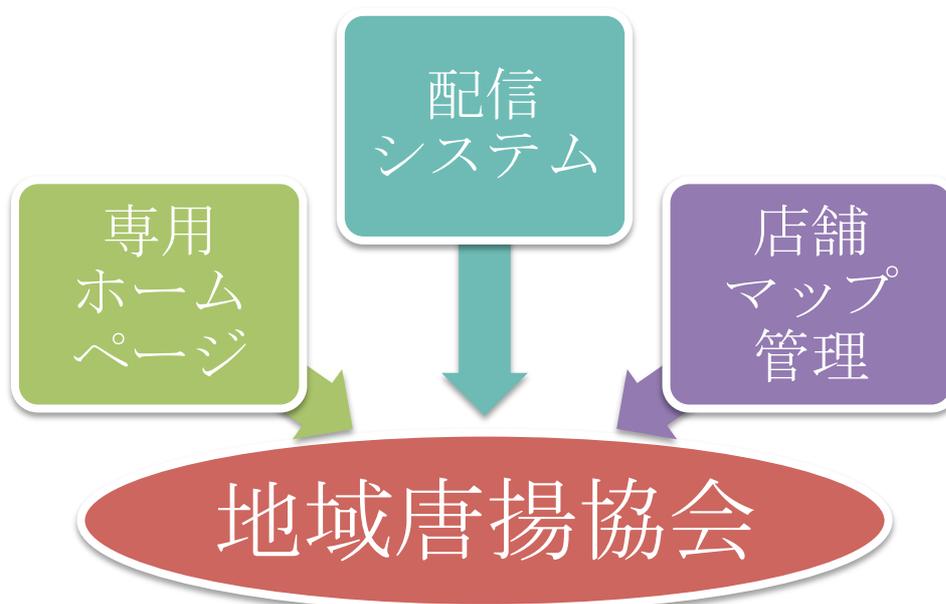


このようなシステムを用いて、地域の唐揚げ店が盛り揚がる仕組みを提供いたします。そのために、現在日本唐揚げ協会の会員管理システムおよび唐揚げマップ、そして、オフィシャルサイトのリニューアルを実施し、これらの制度を内包した体制を組み上げてまいります。

地域唐揚協会会員管理システムの貸与

地域唐揚協会用のホームページを用意し、その中で会員管理を実施可能なシステムを提供いたします。具体的には、

1. 地域唐揚協会専用 URL によるホームページ
2. 日本唐揚協会認定カラアゲニストへの情報配信
3. 日本唐揚協会唐揚げマップへの登録削除権限



これらを日本唐揚協会より権限移譲いたします。日本唐揚協会にて培い、労力と予算をつぎ込んで作成したシステムを活用いただける様に致します。より詳しく説明をさせていただきます。

地域唐揚協会専用 URL によるホームページ

日本唐揚協会のオフィシャルサイトのドメインにサブドメインを付与し、地域唐揚協会独自の URL を発行いたします。内容としては、

[http://\(市区郡\).\(都道府県\).\(地区\).karaage.ne.jp/](http://(市区郡).(都道府県).(地区).karaage.ne.jp/)

という URL を発行し、オフィシャルな地域唐揚協会であること

を証明できる形で提供いたします。

また、サイトデザインも日本唐揚協会オフィシャルサイトと同じ構成とし、一体感、オフィシャル感が感じられるデザインとします。なお、コンテンツは地域唐揚協会ですべて更新できますので、オリジナルコンテンツで地域を盛り上げて頂きたいと考えています。

日本唐揚協会認定カラアゲニストへの情報配信

日本唐揚協会に登録している認定カラアゲニストに対し、地域唐揚協会の情報を配信することができます。ただし、認定カラアゲニスト全員ではなく、その地域に登録しているカラアゲニストへの配信となります。なお、ちょうちんチャレンジ実施に関しては、自動的に広域配信を考えており、より多くの認定カラアゲニストたちが唐揚店舗へ赴く形で考えています。

地域唐揚協会は、日本唐揚協会に登録していて、その地域にいらっしゃる認定カラアゲニストへの配信と、独自に呼びかけ地域で認定カラアゲニストになった方への配信が可能となります。日本唐揚協会ですべて活用している情報配信システムを、地域唐揚協会ですべて活用・利用することができます。

日本唐揚協会唐揚げマップへの登録削除権限

地域唐揚協会では、地域の唐揚げマップが自動的に生成されます。なお、これは日本唐揚協会のデータベースとも連動しておりますので、地域の唐揚げマップへ登録することで、日本中の認定カラアゲニストおよび、カラアゲニスト（一般的な唐揚げ好きの総称）が唐揚げ店の情報を探しに来た際は、地域で登録した情報も掲載され、調べることが可能となっています。また、閉店や移転、その他情報変更なども、通常は登録者のみの変更可能な店舗情報を、地域唐揚協会が管理することが可能となり、より正確で地域への流入を促進させることが可能となります。また、ちょうちんチャレンジの登録削除などの管理も可能となります。

からあげグランプリ®予選免除

地域唐揚協会が実施する、ご当地唐揚選手権で地域の皆様から美味いと応援された最優秀唐揚店には、日本唐揚協会が実施する からあげグランプリ® 予選を免除いたします。なお、地域唐揚協会の数が大幅に増えた際には、地方大会などを実施することになると思いますが、その際の大会予選免除などを考えます。当面は日本一を決めるグランプリの予選免除権を地域唐揚協会に1つお渡しする形となります。

地域唐揚協会を立ち上げた瞬間に、通常多くの予算を要する管理システムやマップなどが使え、地域を盛り上げる為の初動がし易く、ボトルネックになる部分が解消されます。通常のまちづくり団体では成し得ないスタートアップを実現いたします。

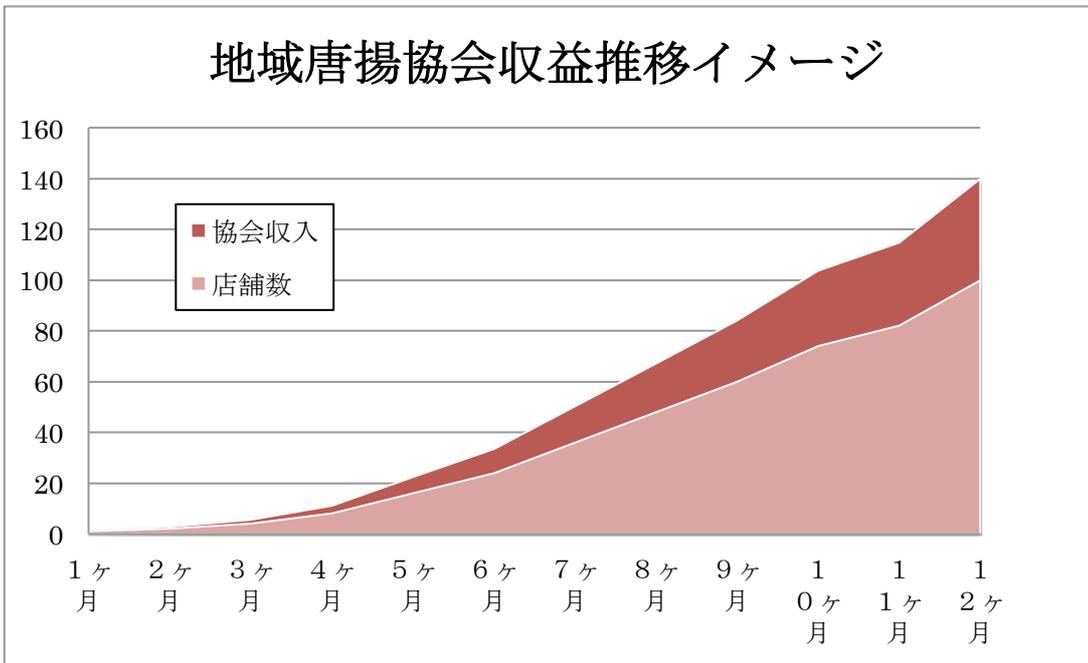
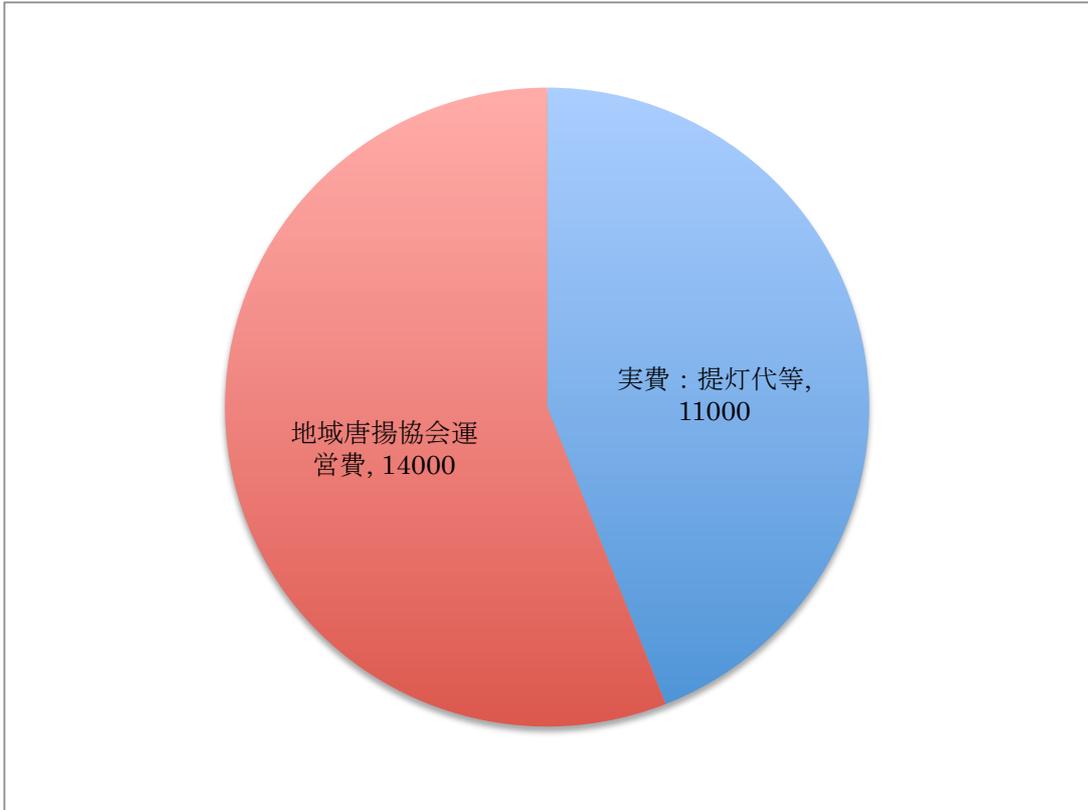
収益モデルの提供

多くの団体で難しいと感じているのがこの収益モデルです。我々日本唐揚協会は、地域唐揚協会を運営する上で必要である収益モデルを提供いたします。

唐揚提灯認定制度

唐揚店にちょうちんチャレンジをして頂くにあたり、地域唐揚協会に管理して頂きます。ちょうちんチャレンジを実施して頂くにあたり、唐揚店より年間で25,000円の登録料を頂く形を地域唐揚協会にとって頂きます。この金額を設定した根拠は、我々がリサーチを進めた中で唐揚げを提供する飲食店の月間広告費用の平均50,000円前後であることがわかりました。月額費用の半額で1年間集客が可能な広告であれば、得であると考えていただけると判断したからです。

地域に飲食店が100店はあると考え、そこに地域唐揚協会から営業して頂くことで、提灯代とデータベース利用代の実費として11,000円だけはかかりますが、年間で140万円の運営費を生み出すことが可能です。



スポンサー制度

地域唐揚協会は、日本唐揚協会より望まれている使命としての三事業（まちづくり、ひとづくり、青少年育成）の一環、もしくは別事業として独自の事業展開をすることができます。その事業展開の中で、例えばイベント協賛をお願いしても良いですし、年間スポンサーとして応援してもらったって良いわけです。地域唐揚協会のパンフレットを作成し、広告枠を用意しても良いですし、ホームページには協賛企業を掲載する枠は用意できておりますので、そちらへの掲載を収益にして頂いても構いません。つまり、地域唐揚協会を応援してくれる企業よりスポンサーフィーを頂くことが可能ということです。

日本唐揚協会グローバルスポンサーの取次もしていただける権限をお渡しいたします（その際は日本唐揚協会のグローバルスポンサー審査あり）ので、そちらの収益も受け取ることが可能です。

地域唐揚協会の設立方法

地域唐揚協会の設立方法は、必要書類を揃え、必要要件に則り申請を頂き、一般社団法人日本唐揚協会 地域唐揚推進協議会 の加盟審査を受けて頂き、審査に通ることにより地域唐揚協会の設立となります。

必要要件

- その地域のまちづくり団体（商工会議所、青年会議所など）で代表を務めた経験のある方、もしくは地域唐揚推進協議会理事より承認された方を代表とする（設立時のみ）
- 発起人10名以上 ※協力店舗関係者を除く、代表含む
- 協力店舗10店以上 ※唐揚提灯制度賛同店舗
- 一般社団法人日本唐揚協会地域唐揚推進協議会理事もしくは他の地域唐揚協会代表理事2名以上による推薦

必要書類

- 地域唐揚推進協議会加盟申請書
 - 地域唐揚協会設立趣意書
 - 地域唐揚協会定款・会則
- 申請名簿
 - 発起人名簿・協力店名簿
- 地域唐揚推進協議会推薦書
- システム利用申請書

費用

- 地域唐揚協会登録料
- システム初期設定費用

上記を揃え、地域唐揚推進協議会まで原本郵送ください。
内容に不備がなければ、審査完了し、システム登録完了後、地域唐揚協会として活動可能となります。